

静岡縣神社志

## 序

神祇を崇め祭祀を重んじ、之を國家百政の樞軸、國民生活の根幹となすは我が國肇國以來の大道にして國本に不拔に培ふ所以なり。現下我が國未曾有の國難に際會し、愈々神慮を畏みて臣道を履踐し、以て大政翼贊の誠を竭すの要緊なるものあるを感ず。

本書は静岡縣郷土研究協會の編纂にして、縣内に奉祀する官國幣社、縣社、郷社並に由緒ある村社、無格社等合計二百六十社につき、その祭神の御事歴、由緒等を詳述せり、蓋し此の著によりて縣民の敬神の至情を昂揚し、民族的自覺を促進するもの尠からざるべし。仍て一言を陳べて序となす。

昭和十六年六月

## 序

我が静岡縣内には官幣大社三島神社、官幣大社淺間神社を始め、官國幣社九社、縣社以下三千有餘社が奉祀せられ、縣民は幾千年の昔から厚く神社の加護を享け又深く尊崇の誠を捧げてゐる。

時恰も昨十五年は光輝ある紀元二千六百年を迎へ、國を擧げて慶祝の赤誠を捧げ、萬邦無比の歴史的盛儀が行はれた。茲に於て當郷土研究協會は記念事業として静岡縣神社志の編纂を企圖し、これを内田旭、伊藤源作、柘植清、加藤菅根の四氏に委嘱した。四氏は銳意之に當り、漸く稿成りて茲に鉛槧に附することゝした。載するところは郷社以上全部並に村社無格社の一部なりと雖も、聊か神徳を顯彰し、神祇崇敬觀念の昂揚に資するを得ば幸甚とするところである。

昭和十六年六月

静岡縣郷土研究協會長

静岡縣學務部長 伊能芳雄

## 凡 例

一、本書には静岡縣下の官國幣社、縣社、郷社の全部並に村社、無格社中由緒あるもの八十餘社、合計二百六十餘社を収録した。

一、本書編纂の目的は大方の讀者に神祇、神徳及び神社の由緒等につきて一般の理解をすゝめ、神祇崇敬の念を深からしむにあれども、また學者専門家の參考に資せんとした。

一、本書は各神職より提出された静岡縣神社調査票に據りたれども、特に神社明細帳（静岡縣廳備付）特選神名牒（内務省編）古事記、日本書紀、古語拾遺、豆州志稿、増訂豆州志稿、遠江國風土紀傳、遠江式社考、古事類苑神祇部、宮地直一博士及び河野省三博士の諸論著、神社制度史の研究（吉井良晃氏著）神道大辭典（平凡社發行）神祇辭典（山川鶴市氏著）等を參考した。

一、社名、祭神名は成るべく社傳に據り、又その音訓も大體に於て社傳及び一般に行はれてゐる稱呼を採用した。尙振假名は多く表音式に據つた。

一、本書に収録した事項は昭和十五年十月の現在である。

一、記述事項、挿入寫眞に就きては尙ほ考慮の餘地ありしも、神社調査票不提出のもの或は寫眞送付なきものあり、尙發行期日の切迫等の爲め遺憾ながら省略したものがある。

一、本書編纂に際し調査を委嘱せし市町村役場、神職並に參考書の著者、發行所に對して謹みて感謝の意を表す。

## 刊行にあたって

本書は、昭和一六年に静岡県庁教育課内に設けられた静岡県郷土研究協会によって編纂され、同協会より刊行された『静岡県神社志』全一卷を復刻刊行するものです。

本書の刊行にあたっては、編纂者四名の先生方のうち、著者の先生及び、御遺族の御快諾と御協力を得た。即ち、加藤菅根先生には貴重な原本の提供をいただき、御遺族の方々からは励ましと、喜びのお言葉までいただいた。衷心より御礼申しあげる次第である。

その正確な著述と豊富な図版から、幻の名著といわれている本書を、ここに大方の御期待に応え刊行のはこびとなったことを喜ぶものである。

昭和五十五年六月

編者 識す

# 静岡縣神社志目次

## 第一編 總 說

第一章 神國日本 ..... 一

一、神國 ..... 一

二、日本精神 ..... 四

第二章 神 祇 ..... 四

一、神の語釋 ..... 四

二、神 觀 ..... 五

三、敬神崇祖 ..... 七

第三章 神祇の類別 ..... 九

一、諸神の生成と神徳 ..... 九

二、祭祀より見たる諸神 ..... 三

第四章 神階、社格、社領 ..... 一五

一、神 階 ..... 一五

二、社 格 ..... 一七

三、社 領 ..... 一〇

第五章 社 殿 ..... 三九

一、神籬 幣境 ..... 三九

二、社 殿 ..... 四〇

三、社殿と祭神 ..... 四

四、社 號 ..... 三

第六章 祭 祀

記

四

一、神 職

二、氏子及崇敬者

三、祭 儀

第二編 静岡縣の神社

第一章 奉齋の神祇并に社號略説

五

一、社格及神社數

二、社號と祭神との關係 (一) 五

三、社號と祭神との關係 (二) 七

第二章 郡市別に見たる神社の配置と神祇

六

賀茂郡

田方郡

熱海市

駿東郡

沼津市

富士郡

庵原郡

清水市

安倍郡

静岡市

志太郡

榛原郡

小笠郡

周智郡

磐田郡

濱松市

濱名郡

引佐郡

第三編 神社各説

一、官國幣社

一五

三島神社

淺間神社

井伊谷宮

東照宮

伊豆山神社

神部神社、淺間神社、大藏御祖神社

小國神社

二、縣社

社

一〇

伊古奈比辟命神社

皇大神社

廣瀨神社

富士淺間神社

丸子神社

日枝神社

淺間神社

御穂神社

草薙神社

小梳神社

大井神社

燒津神社

白羽神社

八幡神社

三熊野神社

高松神社

天宮神社

秋葉神社

山住神社

鎌田神明宮

淡海國玉神社

矢奈比賣神社

府八幡宮

賀久留神社

會許乃御立神社

五社神社

縣居神社

三、鄉

三、鄉

三、鄉

社

- 杉梓別命神社 二六八
- 加畑加茂神社 二七三
- 伊那上神社 二七五
- 豆塚神社 二七三
- 部田神社 二七〇
- 輕野神社 二七〇
- 葛見神社 二七〇
- 淺間神社 二七〇
- 淺間神社 二七〇
- 米之宮淺間神社 二七〇
- 和歌宮神社 二六八
- 久佐奈岐神社 二六一
- 豐積神社 二六〇
- 足坏神社 二六〇
- 日枝神社 二六九
- 三島神社 二七三
- 伊那下神社 二七〇
- 大瀬神社 二七〇
- 初姫神社 二六八
- 八幡宮・來宮神社 二七一
- 桃澤神社 二七五
- 二箇神社 二六八
- 楊原神社 二六八
- 富知六所淺間神社 二六八
- 總積神社 二六八
- 豐由氣神社 二六三
- 八幡宮 二六五
- 建穗神社 二六九
- 月間神社 二七〇
- 淺間神社 二七〇
- 佐波神社 二七〇
- 日枝神社 二六八
- 荒木神社 二六八
- 來宮神社 二七一
- 八幡神社 二七五
- 一幣司淺間神社 二六〇
- 瀧川神社 二六八
- 日吉神社 二七〇
- 酒瓶神社 二六〇
- 舘田神社 二六三
- 諏訪神社 二六六
- 別雷神社 二六〇
- 伊河麻神社 二六八
- 飽波神社 二七〇
- 若宮八幡宮 二七一
- 淺間神社 二七五
- 八幡神社 二七〇
- 大井八幡宮 二七〇
- 和田神社 二七〇
- 一幡神社 二七〇
- 片岡神社 二七〇
- 八幡神社 二七〇
- 熊野三神神社 二七一
- 池宮神社 二七〇
- 春日神社 二七〇
- 阿波々神社 二七三
- 上水神社 二七五
- 八幡神社 二七五

- 八幡神社 二〇三
- 熊野神社 二〇五
- 齊山八幡宮 二〇六
- 八幡神社 二〇三
- 日吉神社 二〇六
- 神明社 二〇六
- 八幡宮 二〇三
- 那閉神社 二〇五
- 服織田神社 二〇五
- 敬滿神社 二〇五
- 敬滿大井神社 二〇六
- 雨櫻神社 二〇五
- 高天神社 二〇五
- 藤谷神社 二〇五
- 熊野神社 二〇五
- 山名神社 二〇五
- 廣野神社 二〇三
- 稻荷神社 二〇六
- 神 社 二〇〇
- 高根神社 二〇四
- 岩田神社 二〇七
- 稻荷神社 二〇九
- 八幡宮 二〇三
- 須佐男神社 二〇五
- 飯室乃神社 二〇五
- 巖室神社 二〇五
- 駒形神社 二〇〇
- 利 社 二〇五
- 小笠神社 二〇七
- 大頭龍神社 二〇一
- 矢柄神社 二〇五
- 許禰神社 二〇七
- 伊河麻神社 二〇三
- 飽波神社 二〇七
- 若宮八幡宮 二〇一
- 淺間神社 二〇五
- 八幡神社 二〇七
- 大井八幡宮 二〇〇
- 和田神社 二〇四
- 一幡神社 二〇五
- 片岡神社 二〇五
- 八幡神社 二〇七
- 熊野三神神社 二〇一
- 池宮神社 二〇四
- 春日神社 二〇五
- 阿波々神社 二〇三
- 上水神社 二〇五
- 八幡神社 二〇五



- 朱原神社 三〇
- 富士淺間宮 三五
- 八王子神社 三五
- 若宮八幡宮 三〇
- 八幡神社 三五
- 坂本神社 三〇
- 野邊神社 三五
- 岐佐神社 三五
- 神明神社 三二
- 女河八幡宮 三四
- 息神社 三五
- 服織神社 三三
- 有玉神社 三〇
- 春日神社 三〇
- 賀茂神社 三三
- 細江神社 三六
- 八幡神社 三〇
- 赤尾垂垂神社 三五
- 白羽神社 三五
- 岩田神社 三三
- 諏訪神社 三五
- 天御子神社 三〇
- 水神社 三五
- 諏訪神社 三五
- 神明神社 三三
- 大神山八幡宮 三五
- 八幡宮 三〇
- 春日神社 三〇
- 稻荷神社 三〇
- 松尾神社 三〇
- 八幡宮 三三
- 乎豆神社 三七
- 八幡神社 三三
- 鹿苑神社 三五
- 貴船神社 三五
- 稚夕脇神社 三五
- 神妻神社 三六
- 許禰神社 三六
- 西神明神社 三六
- 二宮神社 三六
- 熱田神社 三五
- 八柱神社 三五
- 於呂神社 三〇
- 邑瀬神社 三〇
- 津毛利神社 三六
- 淺間神社 三三
- 秋葉神社 三五
- 蜂前神社 三八

- 須倍神社 三〇
- 六所神社 三〇
- 潤伊神社 三〇
- 濱名惣社神明宮 三六
- 六所神社 三六
- 六所神社 三六

四、村社・無格社

- 志理太平宜神社 三九
- 子安神社 三五
- 武峰神社 三五
- 三島神社 三七
- 三島神社 三〇
- 三島神社 三〇
- 伊志夫神社 三〇
- 神明社 三五
- 國玉命神社(浦守神社) 三五
- 御嶽神社 三〇
- 高橋神社 三五
- 長濱神社 三五
- 諸口神社 三九
- 見高神社 三〇
- 波夜多麻和氣命神社 三五
- 走湯神社 三五
- 王子神社 三八
- 諏訪神社 三三
- 八幡神社 三五
- 仲神社 三〇
- 哆胡神社 三五
- 宇久須神社 三八
- 左内神社 三二
- 鉾戸神社 三五
- 鮑玉白珠比咩命神社 三五
- 井田神社 三〇
- 三島神社 三一
- 淺間神社 三五
- 若宮神社 三五
- 石室神社 三五
- 姫宮神社 三五
- 國柱命神社 三五
- 箕勾神社 三五
- 多爾夜神社 三五
- 楊原神社 三五
- 右内神社 三三
- 劍刀神社 三五
- 伊加麻志神社 三六
- 土肥神社 三一

八幡神社 社 四七	稻宮神社 社 四九	國玉神社 社 五八
神明神社 社 四七	淺間神社 社 四七	奈胡谷神社 社 四八
八幡神社 社 四七	比波預天神社 社 一	阿治古神社 社 三三
阿豆佐和氣神社 社 四八	今宮神社 社 四五	初木神社 社 四六
桃澤神社 社 四八	小川泉水神社 社 四九	白籬神社 社 四九
佐野原神社 社 四九	玉作神社 社 四九	大朝神社 社 五三
倭文神社 社 五三	富知神社 社 五三	中津神社 社 四九
池田神社 社 五三	白澤神社 社 四六	大楠神社 社 四六
龍尾神社 社 五三	比奈多乃神社 社 四九	山名神社 社 五〇
七ツ森神社 社 五二	田中神社 社 五〇	雷三神社 社 五二
加茂神社 社 五二	於呂神社 社 五二	高根神社 社 五二
大歲神社 社 五二	六所神社 社 五二	子安神社 社 五二
大毬神社 社 五〇	諏訪神社 社 五二	四所神社 社 五二
神明宮 社 五三	神明宮 社 五七	猪鼻湖神社 社 五八
六所神社 社 五二	角避比古神社 社 五〇	

附 表

一、神社郡市別表 (一) ..... 五三

二、神社郡市別表 (二) ..... 五四

三、神社市町村別表 ..... 五五

四、式内社考證集覽 ..... 五九

五、駿河國諸郡神名帳 ..... 五〇

六、伊豆國神階帳 ..... 五七

圖 版

口繪 官幣大社三島神社 ..... 一六

口繪 官幣大社淺間神社 ..... 一六

平政子奉納 蒔繪柳笥、外笥、同上内容 (國寶) (官幣大社三島神社所藏) ..... 一六

北畠顯家寄進狀、北條宗瑞 (早雲) 指刀奉納狀、北條氏綱造營勸進免許判物 (同上) ..... 一六

木犀 (天然記念物) (同社境内) .....	一五
武田信玄自筆顯文、桐竹鳳凰文八稜鏡 (官幣大社淺間神社所藏) .....	一六
官幣中社井伊谷宮 .....	一六
官幣中社井伊谷宮陵墓、宗良親王御筆新古今集和歌並國綱銘大刀(國寶) (官幣中社井伊谷宮所藏) .....	一六
別格官幣社東照宮參道 .....	一七
別格官幣社東照宮 (國寶) .....	一七
國幣小社伊豆山神社 .....	一七
後奈良天皇宸筆、般若波羅蜜多心經 (國寶) (國幣小社伊豆山神社所藏) .....	一七
草花雙飛雀鏡、八稜瑞花雙鳳鏡 (同上) .....	一七
國幣小社神部神社、淺間神社 .....	一七
國幣小社大歲御祖神社 .....	一七
徳川家康撰甲式用腹卷、山田長政奉納戰艦圖 (國幣小社淺間神社所藏) .....	一七
國幣小社小國神社 .....	一八
經塚遺物 (國幣小社小國神社所藏) .....	一八
縣社伊古奈比咩神社、佐野(北條)氏忠朱印狀 (同社所藏) .....	一八
罇口 (大久保長安寄進)、水草流水飛雀鏡 (同社所藏) .....	一八
縣社皇大神社、縣社廣瀬神社 .....	一九
縣社富士淺間神社、縣社丸子神社 .....	一九
縣社日枝神社、山王縁起卷物(國寶)の一部 (同社所藏) .....	一九
縣社淺間神社、縣社御穂神社 .....	二〇
縣社大井神社、縣社燒津神社 .....	二〇
縣社白羽神社、縣社八幡神社 .....	二〇
縣社三熊野神社、縣社高松神社 .....	二〇
笠原庄一宮社領南浦四至裁許狀 (高松神社所藏)、縣社天宮神社 .....	二〇
縣社秋葉神社 .....	二〇
縣社山住神社、縣社鎌田神明宮 .....	二六
縣社淡海國玉神社、縣社矢奈比賣神社 .....	二六
縣社府八幡宮隨神門、神像 (同社所藏) .....	二六
縣社賀久留神社、縣社會許乃御立神社 .....	二六
縣社五社神社(國寶) .....	二六
縣社五社神社拜殿内部正面欄間鳳凰、同社蛙鼓 .....	二六
縣社縣居神社、縣社蒲神明宮 .....	二六

静岡縣護國神社鳥瞰圖……………二四

鐵燈籠 (大久保長安寄進) (郷社伊那上神社所藏) 郷社伊那下神社……………二五

松藤飛鶴鏡 (國寶) (同上社所藏) 親子公孫櫛 (天然記念物) (同上社内)……………二五

武田信虎神物奉納狀 (郷社淺間神社所藏) 郷社穗積神社……………二六

郷社豊積神社、郷社八幡神社……………二七

郷社青山八幡宮、郷社神社……………二八

郷社若宮八幡宮、郷社高根神社……………二九

郷社須佐男神社、御船 (同上社所藏)……………三〇

郷社椒瀨神社、經塚遺物 (同上社所藏)……………三一

郷社大井敬清神社所藏)……………三二

郷社池宮神社濱坊離並御權納神事……………三三

郷社富士淺間宮、井伊直盛判物 (郷社蜂前神社所藏)……………三四

郷社須倍神社、郷社濱名總社神明宮……………三五

# 静岡縣神社志

## 第一編 總 說

### 第一章 神 國 日 本

#### 一、神 國

我が國は神國であるといふ事は我が國民傳統の信念であり寧ろ信仰である。いま何故神國と云ふかに就て世人一般の語る所を擧ぐれば、(一)我が國は神様が肇め給うたからといふ。(二)神様の御直系であらせられる 天皇陛下が御統治遊ばされるからといふ。(三)我が國の政治はマツリヒトというて神を齎くことが國民を治めることである、即ち祭政一致の國であるからといふ。(四)常に神々が守護あらせられて國家危急の際は御冥助を下し給はるからといふ。(五)我等は誰もがその祖先に溯れば神に到達する、即ち我々は神の裔孫であるからといふ。(六)神が我が國を護り給ひ、國民は何事にも先づ誠心を以て神を祀り神に祈るからといふ。(七)國中到る處に神様がお祀りしてあるからといふ、等々でなほこれらに止まらない。思ふに是等は皆一つ一つの事實を述べてゐて、その何れもが眞ではあるが、然

# 静岡縣神社志終

昭和五十五年 六月十日 印刷  
昭和五十五年 六月二十五日 発行

## 静岡県神社志

定価 九、三〇〇円

編者 静岡県郷土研究協会

企画 有限 日本佛書センター  
刊行 会社 東京都豊島区上池袋一―三九―一七

発行 榎田 稔

印刷 有限会社 八和印刷

発売元

株式会社 世界聖典刊行協会

〒170 東京都豊島区上池袋一―三九―一七  
電話〇三(九一五)一〇七八